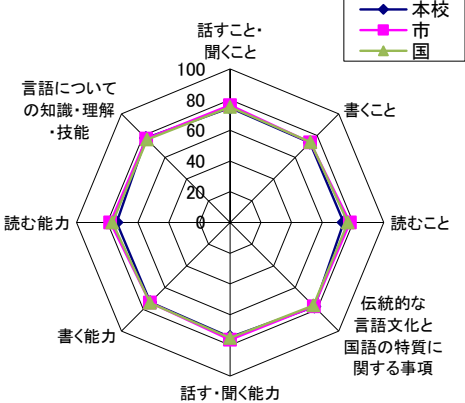


宇都宮市立陽南中学校第3学年【国語】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

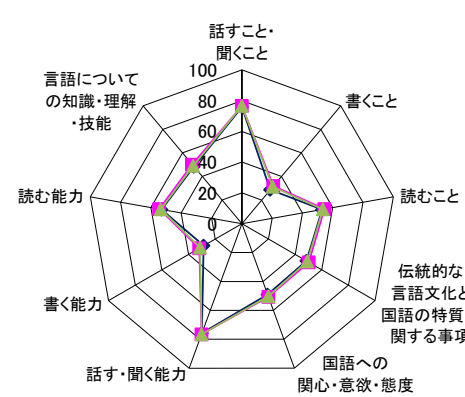
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	74.7	76.4	75.2
	書くこと	73.4	73.7	73.9
	読むこと	73.9	78.0	76.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	77.6	77.2	76.5
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	74.7	76.4	75.2
	書く能力	73.4	73.7	73.9
	読む能力	73.9	78.0	76.7
	言語についての知識・理解・技能	77.6	77.2	76.5



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	75.8	76.5	76.6
	書くこと	28.7	31.9	31.3
	読むこと	53.0	54.5	53.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	48.5	50.2	49.2
観点	国語への関心・意欲・態度	49.1	50.6	50.3
	話す・聞く能力	75.8	76.5	76.6
	書く能力	28.7	31.9	31.3
	読む能力	53.0	54.5	53.5
	言語についての知識・理解・技能	48.5	50.2	49.2



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力に関する問題についての正答率はおおむね市・全国平均と同程度である。 ●話し合いの中で確認しなければならないことについて司会としての発言を書くという問題については、市平均より2.3ポイント、全国平均より3.3ポイント低い。 ●発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する問題については、市平均より2.8ポイント、全国平均より3.3ポイント低い。	・小グループでの話し合いにおいて司会の経験をさせたり、全体の前でまとめたことを発表させたりするなどの学習を行っていく。
書くこと	○伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書くという問題については、市平均より5.2ポイント、全国平均より4.0ポイント高い。 ●目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くという問題については、市平均より3.3ポイント、全国平均より4.4ポイント低い。 ●書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討するという問題については、市平均より4.8ポイント、全国平均より5.8ポイント低い。	・授業の中で、自分の考えを書いてまとめる時間をできるだけ取るようにする。 ・書いたものをお互いに読みあい、伝えたい内容が十分に表されているかを検討することにより、書く力を身に付けさせるようにする。
読むこと	○文章の構成や展開について自分の考えをもつという問題については、市平均より4.3ポイント、全国平均より3.7ポイント高い。 ●段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てるという問題については、市平均より7.0ポイント、全国平均より7.9ポイント低い。	・説明文の読解において、段落構成や段落ごとの要点をまとめたり考えさせたりして、内容を具体的に理解できるようにする。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○文脈に即して漢字を正しく書くという問題については、市平均より5.7ポイント、全国平均より4.2ポイント高い。 ○目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くという問題については、市平均より20.4ポイント、全国平均より18.2ポイント高い。 ●行書の基礎的な書き方を理解して書くという問題については、市平均より8.6ポイント、全国平均より8.4ポイント低い。	・漢字の習得については、各学年とも小テストを実施して定着を図った効果が表れているため、今後も継続して実施する。 ・書写の学習においては、筆順や運筆の知識についても適宜指導する。